

第1時限目 株式とは何か？

①株式とは何か？ (1) 株式会社の由来 (2) 株式投資は投資家に有利にできている (3) 財務諸表はどうして出来たのか？ (4) 株式会社の利益は株主のもの (5) 株式投資で利益を出す2つの方法 (6) 現金配当と株主優待について ②株式取引について (1) 証券市場と証券会社、投資家とのかかわり (2) プライマリー市場とセカンダリー市場 (3) 証券会社の選び方 (4) 特定口座とNISAについて (5) 株式投資の税金

第2時限目 株式投資の基礎

①株式投資の基本 (1) 市場の種類と取引時間 (2) 市場のルール (最低売買単位、呼び値、ストップ高・安) (3) 新規上場について (4) 株式分割について (5) 公募増資とライツオファリング (6) 立会外分売 ②株式の情報の採り方 (1) 会社四季報 (2) インターネットの情報 (3) 決算短信の基本 (5) バリューストックとグロース株とは (6) 33業界の特色について

第3時限目 実際の売買注文

①売買注文 (1) 証券コードとは？ (2) 注文方法～指値と成行、期間、株数、株価 (3) 逆指値など特殊な売買方法 (4) 気配値の見方 (5) 歩み値 ②信用取引 (1) 信用取引とは？ (2) 制度信用と一般信用 (3) 信用取引のメリット・デメリット (4) 信用取引の注文方法 (5) 追証 (6) 信用倍率 (7) 信用評価損益率

第4時限目 銘柄の選び方

①銘柄選びの重要ポイント (1) 銘柄をどのような基準で選ぶか？ (2) 業績が良い点 (3) 株価トレンドで判断する (4) 株価水準で判断する (PER、PBR、PEG) (5) 長期投資に必要、独自の強み ②定量分析と定性分析 (1) 定量分析と定性分析とは何か？ (2) 定量分析のメリット・デメリット (3) 定性分析のメリット・デメリット (4) 情報はどこで取るのか？ ③投資方法によって銘柄選択基準は異なる (1) 様々な投資スタンス (2) それぞれのメリットデメリット

第5時限目 ファンダメンタル情報の採り方

①会社四季報の見方 (1) 業績情報の見方 (2) 文章の見方 (3) 株価指標の見方 (4) 財務指標の見方 (5) 四季報の賢い使い方について ②決算短信の見方 (1) 決算短信とは？ (2) 表紙と定性情報 (3) 業績情報の見方 (4) 定性情報の見方 (5) 決算説明資料も活用しよう

第6時限目 株式投資で覚えておくべきテクニカル分析とチャート (1)

①チャートの分析の基礎 (1) 株価チャートは何のため見るのか？ (2) ローソク足とは (3) 移動平均線とは (4) 出来高とは (5) ローソク足と出来高の組み合わせからわかること (6) ボックスとレンジ ②ローソク足の組み合わせ (1) ローソク足組み合わせ (窓、孕み足・含み足) (2) ローソク足組み合わせ (アイランドリバーサル) (3) 酒田五法 (三山、三川、三空) (4) 酒田五法 (三兵、三法) ③ダウ理論 (1) トレンドかレンジか (2) トレンド転換

第7時限目 株式投資で覚えておくべきテクニカル分析とチャート (2)

①チャートパターン (1) 指示線と抵抗線 (2) もみ合いからの上入れ・下入れ (3) 値幅調整と日柄調整 (4) カップウィズハンドル (5) ソーサーウィズハンドル (6) ダブルトップ、ダブルボトム (7) ヘッドアンドショルダー、逆三尊 (8) 三角持ち合い (9) フラッグ (10) ゴールデンクロスとデッドクロス (11) パーフェクトオーダー ②グランピルの法則 (1) 買い (売り) のパターン1 (2) 買い (売り) のパターン2 (3) 買い (売り) のパターン3 (4) 買い (売り) のパターン4

第8時限目 株式投資で覚えておくべきテクニカル分析とチャート (3)

①テクニカル指標とは (1) テクニカル指標とは (2) オシレーター系テクニカル指標とトレンド系テクニカル指標 ②オシレーター系テクニカル指標 (1) RSI (2) ストキャスティクス (3) サイコロジカル (4) RCI (5) DMI (6) ウィリアム %R (PCR) ③トレンド系テクニカル指標 (1) エリオット波動 (2) 移動平均線 (3) ボリンジャーバンド (4) 一目均衡表 (5) MACD (6) パラボリック (7) エンベロープ

第9時限目 財務諸表の見方

①主要三票 (1) 主要三表とは？ (2) 主要三表の相互のつながり ②財務指標 (1) 成長率 (2) ROE・ROA (3) 総資産回転率、レバレッジ、純利益率 (4) 営業キャッシュフローレシオ (5) 当座比率と流動比率 自己資本比率 デッドエクイティーレシオ ③損益計算書 (1) 売上と6つの利益 (2) 原価償却とのれん (3) JA-GAAPと国際会計基準 (4) EBITDA (5) 異常値の検出

第10時限目 財務諸表の見方

①貸借対照表 (1) 貸借対照表の由来と仕組み (2) 資産の部 (3) 負債の部 (4) 純資産の部 ②キャッシュフロー計算書 (1) キャッシュフロー計算書の意味 (2) 営業キャッシュフロー (3) 投資キャッシュフロー (4) 財務キャッシュフロー (5) フリーキャッシュフロー ③危険な会社の見分け方 (1) 売上債権急増ケース (2) 在庫急増ケース (3) 負債急増ケース

第11時限目 相場サイクル

①相場サイクル (1) 景気循環 (2) 相場サイクル (3) 各サイクルの見分け方 ②経済指標 (1) 金利(イールドカーブ)と株式 (2) 景気ウォッチャー指数 (3) その他、日本の経済指標 (4) 為替について (5) 米国の経済指標 (6) 中国の経済指標 ③アノマリー (1) 月間のアノマリー (2) 大統領選挙のアノマリー

第12時限目 リスク管理と投資マインド

①リスク管理 (1) リスクの考え方 (2) テールリスクの考え方 (3) 資金管理 (4) 分散投資(銘柄的分散と時間的分散) ②投資マインド (1) 上達につながる投資を行おう、侵してもいいリスクと侵してはいけないリスク (2) 必ず根拠を持って投資をしよう (3) 損切は必要経費 (4) マイルールについて ③行動経済学 (1) 損切が出来ない理由 (2) アンカリング (3) サンクコスト (4) 現状維持マインド

FX 投資に関する講義

第1時限目 FX 投資家として一人前になるまでに必要な育成ステップ

相場分析法には、チャート分析(テクニカル分析)とファンダメンタルズ分析があるが、まずは、チャートの基本が読めるようになることが早道 ①ロウソク足 (1) ロウソク足の形状(フォーメーション)の意味 (2) ダブルトップ (3) ヘッドアンドショルダー (4) トリプルトップ (5) ダブルボトム (6) トリプルボトム (7) 三兵 (8) たくり線 (9) 首つり線 (10) 寄せ線 ②移動平均線 (1) 長短の移動平均線(15分足、1時間足、週足、月足などでも可) (2) 5日移動平均線 (3) 10日移動平均線 (4) 25日移動平均線 (5) 90日移動平均線 (6) 120日移動平均線 (7) 200日移動平均線

第2時限目 FX 投資で覚えておきたいトレンド相場とレンジ相場の違いを認識

(1) トレンド相場の心得、特に上昇トレンドのトレード法、Buy and hold(買って持ち続ける) (2) トレンド相場からレンジ相場への変わり目を認識 (3) レンジ相場の心得、レンジ相場の3段階 (4) レンジ相場からトレンド相場への変わり目の認識 (5) 客観的な認識法、1) 複数の移動平均線の収束 2) ポリリンジャーファイブと 2) の収束が意味すること

第3時限目 FX 投資で覚えておきたいファンダメンタルズ分析

(1) エコノミストのファンダメンタルズ分析とは違う(トレーダーは儲けるのが仕事) (2) ファンダメンタルズから、マーケットセンチメント(心理)を読む (3) 多数派の見方を知る (4) 大きな誤解「経済指標・イベント発表に賭ける」「(スルーザフィギュア)」という (5) リスクが高すぎる、プロはやらない (6) 結局、ファンダメンタルズ分析は理論的なようでいて、実は心理戦

第4時限目 日本人投資家は食いにされていることを知る

(1) 日々、ロンドン勢のショートスクイズ、ロングリクイデーション (2) 1月の三が日、仕事始め相場(知る限りここ30年毎年のように狙われている) (3) 円というマザーカレンシー(日本にとっての母国通貨)は本邦勢が仕切る気概が必要(今、東京市場の一番大きな存在が個人投資家だからこそ、その意識が必要)

第5時限目 相場の格言からマーケットセンチメントを知る

(1) 投機をなすもの、楽悲を戒む。相場につれを作らず、人の行く裏に道あり花の山 など、ストイックの必要性を訴えたもの (2) すごい買い、よくよく聞けばロスカット のように相場の仕組みを語るもの

第6時限目 相場の仕組みを語る格言から値動き分析がわかる

(1) ジリ高、ジリ安を始める相場心理 (2) ジリ高、ジリ安開始後の相場心理 (3) 我慢が出来なくなっただけの急騰、急落 (4) 高止まり、安値圏のお継続の意味(ショートスクイズやロングリクイデーションはこの相場の仕組みに乗ったもの)

第7時限目 マーケット特性を知る

(1) 日々の相場の時間割～東京とニューヨークと、ロンドンとは攻め方が違う～ (2) 東京市場とニューヨークは電撃戦 (3) ロンドン市場はショートスクイズ、ロングリクイデーション (4) 年間の財務会計相場 毎年各月一回のことだけに忘れていて、やられてから気づくことが多いだけに重要

第8時限目 本当のリスク管理を実践する

(1) 不測の事態への対応 (2) 油断しない (3) 身構える (4) 自分を守るのは自分しかいない

第9時限目 こうして話してきたことをカスタマイズする

自分のものにするということ

相場理解・コモディティに関する講義

第1時限目 コモディティとは何か？

①コモディティとは何か？ (1) コモディティは生活必需品 (2) コモディティは経済に影響を与える (3) コモディティの分類 ②コモディティ取引について (1) 現物市場の重要性 (2) 先物市場の存在 (3) 現物・先物市場の関係 (4) CFD取引

第2時限目 コモディティの基礎

①コモディティの基本 (1) 市場の種類と取引時間 (2) 市場のルール (取引単位、呼び値) (3) 現物市場の取引 ②コモディティの分類 (1) 貴金属市場 (2) 非鉄金属市場 (3) エネルギー市場 (4) 農産物市場

第3時限目 実際の売買注文

①売買注文 (1) コモディティ銘柄 (2) 注文方法～指値と成行、取引枚数、価格 (3) 逆指値 (4) 気配値の見方 ②先物取引とCFD取引 (1) 先物取引 (2) CFD取引 (3) 現物取引

第4時限目 銘柄の選び方

①銘柄選びの重要ポイント (1) 銘柄選定の基準 (2) 貴金属銘柄の特性 (3) 非鉄金属銘柄の特性 (4) エネルギー銘柄の特性 (5) 農産物銘柄の特性 ②定量分析と定性分析 (1) 定量分析と定性分析とは何か？ (2) 定量分析のメリット・デメリット (3) 定性分析のメリット・デメリット

第5時限目 ファンダメンタル情報の取得

①ファンダメンタルズ情報 (1) ファンダメンタルズとは？ (2) 需給動向の見方 (3) ファンダメンタルズ材料の利用方法 ②各セクターの需給動向の見方 (1) 貴金属市場の見方 (2) 非鉄金属市場の見方 (3) エネルギー市場の見方 (4) 農産物市場の見方

第6時限目 経済指標と景気循環およびシーズナリティ

①経済指標 (1) 経済指標の重要性 (2) 世界経済の見方 (3) 米国の経済指標 (4) 中国の経済指標 ②景気循環 (1) 景気循環 (2) 相場サイクル (3) 各サイクルの見分け方

第7時限目 シーズナリティ

(1) シーズナリティの重要性 (2) 貴金属銘柄のシーズナリティ (3) 非鉄金属銘柄のシーズナリティ (4) エネルギー銘柄のシーズナリティ (5) 農産物銘柄のシーズナリティ

第8時限目 為替市場とコモディティ

(1) 為替相場の見方 (2) 為替相場とコモディティの関係 (3) 主要通貨とコモディティの関係 (4) 新興国通貨とコモディティの関係

第9時限目 コモディティ投資で覚えておくべきテクニカル分析

①チャート分析の重要性 (1) チャートの重要性 (2) ローソク足 (3) 平均足 (4) トレンド分析の方法 ②テクニカル指標 (1) トレンド系指標 (2) オシレーター系指標 (3) トレンド分析の方法 (4) 指標の組み合わせによる判断

第10時限目 コモディティトレード

①コモディティトレードの考え方 (1) 順張り (トレンドフォロー) (2) 逆張り (コントラリアン) (3) コモディティトレードの基本 (4) レバレッジ取引の注意点 ②コモディティトレードの実践 (1) 貴金属銘柄のトレード (2) 非鉄金属市場のトレード (3) エネルギー市場のトレード (4) 農産物市場のトレード

第11時限目 リスク管理

①リスク管理 (1) リスクの考え方 (2) ポジション管理の実務 (3) 利益・損失の管理 (4) 銘柄分散の重要性 ②取引ルールの確立と管理 (1) 再現性を担保する (2) 取引ルールの構築 (3) ルールの実行と取引の確認 (4) ロスカットの重要性 (5) メンタルコントロール

※講義内容、講師は変更となることがあります。

※講義内容は、順次公開されます。

